

第20回自治体とNGO/NPOの連携推進セミナー

多文化共生×国際協力

日本は持続可能な共生社会をつくれるか？ ～世界に求められる基準『エシカル』とは～

2020東京オリンピック・パラリンピックの調達コードからSDGsを具体的に！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



■基調講演

(一社)日本エシカル推進協議会会長
東京大学名誉教授
国際グリーン購入ネットワーク名誉会長
山本 良一氏

日本は持続可能な共生社会をつくれるか？ ～世界に求められる基準エシカルとSDGsとは～

エシカル(ethical)とは、「倫理的」「道徳上」という意味の形容詞である。近年は、英語圏を中心に倫理的活動を「エシカル(ethical)〇〇」と表現し、エシカル「倫理的=環境保全や社会貢献」という意味合いが強くなっている。身近な倫理的活動としては、主にエシカル消費が挙げられる。欧米では倫理的消費(ethical consumption)や倫理的調達(ethical sourcing)が主流化されつつある。一般的に「人や社会、環境や地球に優しく配慮した考え方や行動」という意味で使われる。

■日 時:平成29年7月21日(金) 13:00～17:30

■会 場:(一財)自治体国際化協会 大会議室

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル1F

電話:03-5213-1734

アクセス:東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅1番出口より徒歩1分

東京メトロ有楽町線「麹町」駅1番出口より徒歩8分

■対 象:40名(先着順。定員になり次第終了)

自治体職員・地域国際化協会職員、NPO/NGO関係者、その他関心のある方(企業、学生、および一般市民)

■参加費:無料

■申込方法: 下記URLより申込フォームへご入力ください

URL: <http://bit.ly/2toBmvX>



※QRコードからも申込サイトへアクセス可能です。

■お問い合わせ:市民国際プラザ 担当:大蔵

E-mail: international_cooperation@plaza-clair.jp

電 話:03-5213-1734

★情報セキュリティ上、申込フォームをご利用頂けない方へ

①～⑤を記載の上、
international_cooperation@plaza-clair.jp
担当:大蔵宛にお申し込みください。

①件名【7/21自治体連携セミナー参加申込】
②お名前(ふりがな) ③ご所属 ④ご連絡先(TEL,E-mail) ⑤懇親会参加の有無

市民国際プラザHPはこちらから検索お願いします!

市民国際プラザ

検索



■開催趣旨

(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザでは、自治体等とNGO/NPOの連携・協働の促進を図ることにより多くの連携事業が生まれ、国内外の課題解決に繋がることを期待し、自治体とNGO/NPOの連携推進セミナーを継続的に開催しています。

本セミナーでは、2020東京オリンピック・パラリンピックの調達コードを契機に『エシカルなまちづくりを目指す！共生社会の指標SDGsとは？』をテーマに、多文化共生と国際協力を「エシカル」の視点から考える機会とします。2012年のロンドン大会以降、エシカルな大会運営は国際基準化しつつあり、次回の東京大会でもこれらの実施が求められています。2020年に迎える東京大会を好機と捉え、エシカルで持続可能なまちづくりを考えます。

■講師プロフィール

東京大学名誉教授／一般社団法人日本エシカル推進協議会会長 山本 良一 氏

1969年東京大学工学部卒業。74年同大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士。ドイツ、マックスプランク金属研究所客員研究員、89年同先端科学技術研究センター教授、92年同生産技術研究所教授、2010年東京大学名誉教授。11年4月東京都市大学環境学部特任教授(～16年3月末)、国際基督教大学客員教授(～17年3月末)、13年国際グリーン購入ネットワーク名誉会長。LCA 日本フォーラム会長、エコプロ展実行委員長、日本エシカル推進協議会会長、現在に至る。



公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 大会準備運営第一局 持続可能性部長 田中 丈夫 氏

エネルギー会社で環境分野の業務に携わり、環境NGO(The Nature Conservancy)や経済団体WBCSD(The World Business Council for Sustainable Development)などを経て、2015年4月に東京2020組織委員会の持続可能性部長に着任。現在、IOC持続可能性とレガシー委員会の委員及びJOCスポーツ環境専門部会の部会員を務める。



静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 教授／平和構築NGOジュマ・ネット共同代表 下澤 嶽 氏

日本青年奉仕協会、世田谷ボランティア協会を経て、1988年には(特活)シャプラニール＝市民による海外協力の会の駐在としてバングラデシュへ。帰国後、2002年7月に退職。2006年7月から2010年3月まで(特活)国際協力NGOセンター事務局長。2010年4月より、静岡文化芸術大学教員。平和構築NGO ジュマ・ネット共同代表。



一般社団法人ハラル・ジャパン協会 代表理事 佐久間 朋宏 氏

地域経済活性化のスペシャリストとして、約150社の会員企業を始め関係業界との広いネットワークを持ち、多く企業のハラルビジネスアドベットの立場で、ハラル認証取得サポート、販路紹介などを行う。年間120回を超える企業研修、セミナー、講演を実施。自主事業として実施する「ハラルビジネス講座」は、500名を超える受講者を送り出しており、修了生の多くがハラルビジネスに取り組む企業の中で活躍している。



岡山市 市民協働局 ESD推進課 主査 友延 栄一 氏

1967(昭和42)年岡山市生まれ。岡山大学大学院教育学研究科、同志社大学大学院総合政策科学研究科SIコース修了。1992(平成4)年市役所入庁。環境保全課、文化振興課、ESD世界会議推進局等を経て2015(平成27)年から現所属。市民活動と市役所業務の双方で、自然保護、環境教育、ESDに関する活動に関わる。



NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク 代表／一般社団法人日本エシカル推進協議会 理事 原田 さとみ 氏

名古屋テレビ塔1階フェアトレード&エシカル・ファッションの店「エシカル・ベネローブ」にて、環境・人・社会に配慮した「思いやり」のエシカル理念普及とともに、貧困削減・環境保護・地域貢献につながるフェアトレードを推進。名古屋でのフェアトレードタウン運動の取り組みが実り、2015年9月19日名古屋市をフェアトレードタウン認定都市とする。また、名古屋市から観光文化交流特命大使に任命され「フェアトレードタウンごや」を名古屋市の魅力として発信している。



■プログラム

| 第1部 13:00-15:30 | | |
|-----------------|--|--|
| 13:00-13:05 | 開会挨拶 | (一財)自治体国際化協会 理事 三枝 健二 |
| 13:05-13:10 | 資料説明、施設確認など | |
| 13:10-13:40 | [基調講演] 「2020 オリンピック・パラリンピックー日本は持続可能な共生社会をつくれるか?～世界に求められる基準「エシカル」とSDGsとは～」 | 東京大学名誉教授 (一社)日本エシカル推進協議会 会長 山本 良一 氏 |
| 13:50-14:10 | [話題提供] 持続可能性に配慮した2020東京大会～調達コードについて | (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会 組織委員会 大会準備運営第一局 持続可能性部長 田中 丈夫 氏 |
| 14:10-14:15 | 質疑応答 | |
| 14:15-14:35 | [ケーススタディ1] フェアトレードタウンを目指す『エシカル』を切り口とした浜松の チャレンジ! | 静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 教授 平和構築NGOジュマ・ネット共同代表 下澤 嶽 氏 |
| 14:35-14:55 | [ケーススタディ2] ハラルフード+アレルギー、ベジタリアン対応など食で考える人権 と地域活性化 | (一社)ハラル・ジャパン協会 代表理事 佐久間 朋宏 氏 |
| 14:55-15:15 | [ケーススタディ3] 「岡山ESDプロジェクト」で目指す持続可能な社会づくり!地域 連携が生み出すパワー | 岡山市 市民協働局 ESD推進課 主査 友延 栄一 氏 |
| 15:15-15:30 | 休憩・質問記入 | |
| 第2部 15:30-17:30 | | |
| 15:30-16:10 | パネルディスカッション | [モデレーター] NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク 代表 (一社)日本エシカル推進協議会 理事 原田 さとみ 氏 |
| 16:10-16:50 | 会場参加型 意見交換会 | |
| 16:50-17:00 | 閉会・案内・アンケート回収 | |
| 17:00-17:30 | 懇親会・名刺交換会 | ※任意参加 |

※セミナー終了後、希望者のみ同会場にて名刺交換会を予定しています。(会費実費、500円程度)